

持続可能な

社会の実現

〜 広げよう長岡から〜

重点的に取り組む分野

- 環境分野
- 財政・経済分野
- 人間性(心)と教育の分野
- 政治改革の分野

SEKITAKA



せきたか通信 18号

はじめに



4月の長岡市議会議員選挙において5回目の当選を果たすことができました。ご支援頂いた皆様に感謝申し上げますとともに、より充実した議員活動を目指して今後も努力いたします。

投票率低下の要因

今回の市議選の投票率は53%に低下しました。また、他の選挙の投票率も低下傾向に歯止めがかかりません。ある物事に対する関係者の関心が薄れると、その物事は暴走しやすくなるはずですが、従って、政治が健全であるためには有権者の意識と関心の高まりが必要になります。また、政治は世の中の仕組みや方向性を決めますから大変重要ですが、投票率が低下すると組織票が重みを増すために特定の考え方に政治が流されやすくなり、多様な意見の反映が難しくなると考えます。

投票率低下の背景には、政治家

に起因するものと有権者に起因するものがあると考えます。政治家起因のものとしては政治家の劣化や努力不足によって政治不信が増大し、政治への期待や信頼が低下しているものと思われ、有権者起因では、「今だけ・自分だけ」という価値観が広がり、社会全体への無関心が増大しているのではないかと考えられ、これら二つの要因が混然となつて負の連鎖が続いているのではないのでしょうか。



私は政治家として、信頼される政治と議会の実現を目指してきました。4期16年の変化を見ると、長岡市議会も多くの点が改善されたと思いますが、まだ十分ではないと考えていますので、今後政治改革に取り組みます。そして、有権者の皆様にも政治への一層の関心を持つて頂きたいと思えます。「誰に投票したいのか分からない」とか「投票したい人が見つけられない」という声をよく耳にしますが、少しの努力でそれなりに情報収集できますので、少しでも良さを感ずる人を選ぶ努力を継続することで、少しずつ改善させることが可能になります。

国民主権

本稿執筆段階では国民の安全保障関連法案への反対が強く、政権支持率は低下しています。安保法案の中身や進め方には私も反対です。しかし、現政権は国民が選挙を通じて選んだものです。昨年の衆院選の際には安保法案は既に閣議決定されており、報道もされていきました。当時、安倍総理は最大の争点はアベノミクスだと言っていて、「こまかしたようなやり方だ」と思いますが、それを見抜けなかった有権者の責任もゼロではありません。候補者や政党の全政策に賛成して投票する人ばかりではありませんから、「安保法案には反対だけれども安倍政権は支持する」という有権者もおられたとは思いますが、今回のこのような事態は有権者が選択した結果と言えるでしょう。

しかし、安保法案に反対ならば次の選挙で政権を変える力も有権者は持っているのです。それが、国民主権なのです。国民が選択した政治家で社会の物事を決め、その結果が国民に返ってくるのです。一政治家の私が述べるには少し躊躇しますが、主権者たる国民がしっかりすると政治はしっかりするのです。

②長岡市の 意思表示について

関たかし 質問



これまで国・県・東京電力に意見や要望を伝えてきたが、どんな方法、ルートで意思表示してきたか？

原子力安全対策室長 答弁

国や県に対しては原発の安全確保や実効性ある防災体制を、市長会や「市町村による原子力安全対策に関する研究会」を通じて要望している。東電に対しては安全協定に基づく連絡会という手段で要望や意見を伝えている。

関たかし 質問

市が独自に原発の安全・安心を判断するのだから、国や立地自治体（県・柏崎市・刈羽村）と異なる判断になる場合もあり得る。長岡市の判断が確実に反映される意思伝達方法



本会議での議論の様子

（長岡市がノーと言ったら稼働できないような仕組み）を確保すべき。

原子力安全対策室長 答弁

関係団体にしっかりと意思を伝えていく基本姿勢である。

再稼働に関する意思表示と安全に関する意思表示は全く違う。原発の安全確保と再稼働は関連しない。

関たかし コメント

「市が行う原発の安全・安心の判断と、再稼働の判断が関連しない」との答弁は整合性が欠如している可能性があるため、改めて議論することにします。

●木質バイオマスの活用について

①木質ペレット製造の実証実験について

関たかし 質問



温暖化対策・エネルギーの地産地産・雇用創出などの面から、木質バイオマスの活用が必要であり、市はH26度まで3年間の木質ペレット製造実証実験を行った。野心的な取り組みであり注目してい

たが、実験結果と評価は？

環境部長 答弁

処理に困っていた街路樹選定枝を原料としても品質確保が可能であったが、小規模製造設備だったことで費用が販売価格の数倍となり、事業化は困難。また、市内のペレットストーブやボイラーの設置数が少なく、ペレットの需要が伸び悩んでいるので設置数増加に取り組みたい。

関たかし 質問

実証実験に使った製造設備は今度どうするのか？

環境部長 答弁

市内事業者に活用を打診してきたが、引き取り先は決まっていない。市内で活用できるような様々なチャンネルを通じて活用方法を探っていききたい。

②ペレットの普及促進について

関たかし 質問



ペレットストーブの市有施設への導入を進めているが、台数の増

加と実際の市民の使用状況に近い場所への導入が必要と考えるがどうか？

市長 答弁

木質バイオマス利活用は、地域資源を生かした長岡モデルの地方創生への取組としての意義もある。ペレット需要を作りだすために、より身近で市民に暖かさを体感してもらえような施設への導入を検討する。

関たかし 質問



ペレットストーブとペレットボイラーへの市の補助金は全国でもトップクラスの制度である。補助金を継続するとともに、長岡産ペレット燃料の使用を補助金の交付条件にすることで需要が促進されると思うがどうか？

環境部長 答弁

H22よりストーブへの補助を開始し、現在は県内トップの補助額で、述べ81件に交付した。ボイラーはH24に補助を開始し、今年度から補助額を大幅に増額した。今後補助金は継続する。また、補助金交付に条件を付けることは今後検討する。

2

平成26年 9月議会
平成27年 6月議会

委員会での「発言項目」

- ・ 柏崎・刈羽原発について
- ・ 若年者人材育成事業（雇用対策）について
- ・ まちなか居住促進について
- ・ 子ども・子育て支援事業計画について
- ・ 職員の不祥事防止対策について
- ・ 平和関連事業について
- ・ 新エネルギー促進について
- ・ 自転車ネットワーク計画について
- ・ 水害対策について

など

長岡市議会には4つの常任委員会と4つの特別委員会があり、議員は一つの常任委員会と一つの特別委員会に所属します。私は平成26年度は総務委員会と少子・高齢対策特別委員会に、27年度は建設委員会と克雪・危機管理・防災対策特別委員会に所属しています。



委員会での議論の様子

●平成26年度分

長岡市議会議員には、年間720,000円の政務活動費が支給されています。

支出内訳

- 調査研究費……104,887円
ガソリン代(※)、越後長岡：藤原塾
- 資料費……105,816円
グリーンレポート(環境情報誌)、長岡市住宅地図(※)、ワールドレポート(政治経済情報誌)、オルタ(社会情報誌)、食品と暮らしの安全(生活情報誌)、消費者レポート(消費者情報誌)、地球村通信(環境情報誌)、てんとう虫情報(農薬情報誌)
- 広報広聴費……307,566円
活動報告書印刷費・郵送費(※)、封筒印刷費(※)、市政懇談会会場費(※)
- 情報通信費……40,488円
携帯電話料金(※)、電話料金(※)
- 事務費……18,212円
宛名ラベル(※)、プリンターインク(※)、FAXインクリボン(※)、パソコンウイルスソフト(※)、USBメモリ(※)、コピー用紙(※)

支出合計…576,969円

720,000円－576,969円＝143,031円を返却

●平成27年度4月分

市議会議員選挙が行われたため、1か月分60,000円の支給。

大切に
使わねば

3

政務活動費

使途報告

支出内訳

- 調査研修費……9,741円
越後長岡：藤原塾、ガソリン代(※)
- 資料費……7,074円
グリーンレポート(環境情報誌)、ワールドレポート(政治経済情報誌)、オルタ(社会情報誌)、食品と暮らしの安全(生活情報誌)、消費者レポート(消費者情報誌)、てんとう虫情報(農薬情報誌)
- 広報広聴費……500円
市政懇談会会場費(※)



支出合計…17,315円

60,000円－17,315円＝42,685円を返却

※(※)…政務活動以外(政治活動や私用等)の支出分と明確に分割できないので、裁判の判例を基にした按分比率(総額の1/2、1/3、1/4、1/6)で支出したものの

お知らせ

▼市政懇談会

- 【日 時】 毎月第3土曜日 午後7:00～9:00
- 【場 所】 神明公民館(長岡市信濃2丁目)
- 【内 容】 自由に意見を交換します。関たかしの市政報告のほか、テーマを設けたり、講師を招いた勉強会になることもあります。どなたでも参加できます。

▼出前報告

市政の出前報告も行っています。お一人でも伺います。

▼バックナンバー

ご希望の方に「せきたか通信」1から17号をお配りします。



発行／【関たかし事務所】

〒940-0098 長岡市信濃2丁目10番43号
TEL. 0258-32-0751
FAX. 0258-32-0756

ケータイから、HPへアクセスできます。



【関たかし】

E-mail sekitaka@mail.mynet.ne.jp



ホームページ

<http://www.sekitaka.net/>

(YAHOOにて「関 貴志」で検索できます)